



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長兼経営管理部長 (氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,819	—	2	—	2	—	△0	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 0百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△0.12	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は平成27年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	3,330	1,138	34.1	308.42
27年3月期	3,548	1,189	33.5	322.38

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,136百万円 27年3月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	—	16	—	12	—	2	—	0.54
通期	7,500	19.8	115	40.7	105	36.4	52	3.6	14.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	3,686,400 株	27年3月期	3,684,400 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	3,685,059 株	27年3月期1Q	3,511,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) (要約)四半期個別貸借対照表	8
(2) (要約)四半期個別損益計算書	9
(3) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に企業収益の向上・雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が見られるものの、円安による原材料価格の上昇や物価高の影響を受け、個人消費及び景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である広告・イベント業界におきましては、日本経済の緩やかな回復基調の見通しに伴い、底堅く推移しております。

このような環境の中、当社グループは、中期ビジョンである「Be a PARTNER of EXPERIENCE MARKETING」(経験価値提供型マーケティング・パートナーになる)の実現に向け、Experienceマーケティングサービス(人と人が出会う“場”・“空間”とそこで生み出される体験に焦点を当て、感動価値・経験価値を最大化し、クライアントのブランド価値や商品価値向上とともに実現していくこと)の提供を通じて、クライアントのマーケティング・パートナーへと進化すべく事業を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、18億19百万円となりました。営業利益は2百万円、経常利益は2百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は△0百万円となりました。

(注)当社は、前連結会計年度の第4四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較は行っておりません。

なお、当社の当第1四半期累計期間における売上高は、17億18百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。営業利益は41百万円(前年同四半期比36.2%増)、経常利益は39百万円(前年同四半期比33.8%増)、四半期純利益は25百万円(前年同四半期比120.4%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. コミュニケーションデザイン事業

コミュニケーションデザイン事業におきましては、人と人が直接出会う“場”・“空間”において、様々な体験価値を通じて提供される製品・サービスの宣伝・販売活動を「Experience マーケティング」と位置付け、“コミュニケーション”に関わるあらゆる「表現」「手段」「環境」を“デザイン”し、サービスを展開しております。

主力事業であるイベントプロモーション、展示会出展、商談会・プライベートショーの更なるシェア拡大を図るとともに、新規事業であるカンファレンス&コンベンション、商環境、デジタルコンテンツ&マーケティングにおいても着実な体制強化を図ってまいりました結果、年間を通じたマーケティング・パートナーとして対応可能なサービス・ラインナップの拡充による売上機会の増加、顧客単価の上昇等により期初計画比順調に推移し、当第1四半期連結累計期間における売上高は17億18百万円、セグメント利益は41百万円となりました。

b. Webインテグレーション事業

Webインテグレーション事業におきましては、インターネットを活用したビジネスモデルの策定から戦略的なWebサイト構築、制作、デザイン、コピーライティング、更新運用、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)導入支援、モバイルサイト構築等に加え、さまざまなテクノロジーを集約して、イベントプロモーション等で活用するアプリや新たなサービスを提供するエンジニアリングソリューションに取り組んでいます。

進行・納品体制の最適化を実現するための事業基盤強化を図るとともに、コミュニケーションデザイン事業とのシナジーによる売上拡大を推進してまいりました。しかしながら、多くのリソースを要する開発案件等の発生により、獲得可能な売上機会にリソースを最適配分することができなかったこと及び基盤強化のために投じた人材補強費等の発生により、当第1四半期連結累計期間における売上高は1億4百万円、セグメント損失は△27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、資産合計33億30百万円(前連結会計年度末比6.1%減)、負債合計21億91百万円(前連結会計年度末比7.1%減)、純資産合計11億38百万円(前連結会計年度末比4.3%減)となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は25億73百万円(前連結会計年度末比2億37百万円減少)となりました。これは、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比3億9百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は7億57百万円(前連結会計年度末比19百万円増加)となりました。これは、コミュニケーションデザイン事業における基幹業務システム改修のための投資等により無形固定資産が前連結会計年度末比28百万円増加したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は12億41百万円(前連結会計年度末比2億4百万円減少)となりました。これは、買掛金が前連結会計年度末比1億92百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は9億50百万円(前連結会計年度末比37百万円増加)となりました。これは、コミュニケーションデザイン事業における新規リース契約の締結によりリース債務が前連結会計年度末比23百万円増加したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は11億38百万円(前連結会計年度末比50百万円減少)となりました。これは、配当金の支払い51百万円を行ったことにより利益剰余金が前連結会計年度末比52百万円減少したことが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,603	1,121,483
受取手形及び売掛金	1,408,048	1,098,128
仕掛品	71,898	202,196
原材料及び貯蔵品	2,129	3,387
その他	135,444	149,680
貸倒引当金	△2,539	△1,706
流動資産合計	2,810,585	2,573,170
固定資産		
有形固定資産	210,690	212,712
無形固定資産		
のれん	79,957	79,824
その他	275,343	304,270
無形固定資産合計	355,301	384,095
投資その他の資産		
その他	173,132	161,642
貸倒引当金	△1,395	△1,380
投資その他の資産合計	171,737	160,262
固定資産合計	737,729	757,070
資産合計	3,548,315	3,330,240
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,821	342,163
1年内返済予定の長期借入金	489,644	544,639
賞与引当金	81,930	55,947
その他	339,356	298,368
流動負債合計	1,445,751	1,241,118
固定負債		
長期借入金	810,851	823,035
その他	102,547	127,838
固定負債合計	913,398	950,873
負債合計	2,359,150	2,191,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,391	170,629
資本剰余金	224,553	224,792
利益剰余金	789,783	737,746
株主資本合計	1,184,729	1,133,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,054	3,784
その他の包括利益累計額合計	3,054	3,784
新株予約権	1,381	1,295
純資産合計	1,189,164	1,138,247
負債純資産合計	3,548,315	3,330,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,819,058
売上原価	1,365,950
売上総利益	453,108
販売費及び一般管理費	450,711
営業利益	2,397
営業外収益	
受取配当金	52
貸倒引当金戻入額	848
雑収入	975
営業外収益合計	1,875
営業外費用	
支払利息	2,246
雑損失	1
営業外費用合計	2,247
経常利益	2,024
税金等調整前四半期純利益	2,024
法人税、住民税及び事業税	11,290
法人税等調整額	△8,810
法人税等合計	2,480
四半期純損失(△)	△455
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△455

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△455
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	730
その他の包括利益合計	730
四半期包括利益	274
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コミュニケーション デザイン	Webインテグ レーション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,718,837	100,220	1,819,058	—	1,819,058
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	4,565	4,565	△4,565	—
計	1,718,837	104,785	1,823,623	△4,565	1,819,058
セグメント利益又は損失(△)	41,022	△27,130	13,892	△11,494	2,397

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11,494千円は、のれんの償却額△4,661千円、セグメント間取引△6,833千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) (要約)四半期個別貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,536	1,025,929
受取手形	61,551	69,459
売掛金	1,193,072	949,921
仕掛品	63,627	182,388
原材料及び貯蔵品	1,811	3,152
その他	112,050	110,850
貸倒引当金	△1,323	△1,079
流動資産合計	2,485,326	2,340,622
固定資産		
有形固定資産	196,857	202,591
無形固定資産	125,689	161,126
投資その他の資産		
その他	470,026	470,002
貸倒引当金	△1,395	△1,380
投資その他の資産合計	468,631	468,622
固定資産合計	791,178	832,340
資産合計	3,276,504	3,172,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	478,011	317,245
1年内返済予定の長期借入金	463,580	518,575
賞与引当金	60,000	48,255
その他	279,883	276,658
流動負債合計	1,281,475	1,160,735
固定負債		
長期借入金	760,922	779,622
その他	54,403	77,599
固定負債合計	815,325	857,221
負債合計	2,096,801	2,017,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,391	170,629
資本剰余金	224,553	224,792
利益剰余金	780,322	754,503
株主資本合計	1,175,268	1,149,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,054	3,784
評価・換算差額等合計	3,054	3,784
新株予約権	1,381	1,295
純資産合計	1,179,703	1,155,005
負債純資産合計	3,276,504	3,172,963

(2) (要約)四半期個別損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,528,065	1,718,837
売上原価	1,093,676	1,296,214
売上総利益	434,389	422,623
販売費及び一般管理費	404,267	381,601
営業利益	30,121	41,022
営業外収益	1,862	995
営業外費用	2,158	2,119
経常利益	29,825	39,898
税引前四半期純利益	29,825	39,898
法人税等	18,135	14,135
四半期純利益	11,689	25,762

(注) 科目の区分掲記につきましては、要約して記載しております。

(3) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

② 受注状況

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
コミュニケーションデザイン事業	1,448,248	1,409,331
Webインテグレーション事業	260,437	279,268
合計	1,708,686	1,688,599

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,718,837
Webインテグレーション事業(千円)	100,220
合計(千円)	1,819,058

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。